

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		病院(ボイラー用の燃料を貯蔵する)					
タンクの構造専用	壁	延焼のおそれのある外壁	鉄筋コンクリート		床	コンクリート	
		その他の壁	鉄筋コンクリート		出入口	特定防火設備 (しきい高さ20cm)	
	屋根	鉄板		その他	—		
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造	階数		設置階		建築面積	m ²	
	建築物の構造概要						
タンクの構造、設備	形状	縦置円筒型			常圧・加圧 (kPa)		
	寸法	内径 2100mm 高さ 3000mm		容量	内容積 10.4 kl 申請容量 9.5 kl		
	材質、板厚	SS400 底板 6mm、側板 6mm、屋根板 4mm					
	通気管	種別	無弁通気管		数	1	
						内径又は作動圧 50 mm kPa	
	安全装置	種別	—		数	—	
						作動圧 — kPa	
液量表示装置	フロート式液面計			引火防止装置	有・無		
注入口の位置	タンク室の北側外壁			注入口付近の接地電極	有・無		
ポンプ設備の概要	電動ポンプ2基 (安全増防爆)						
採光、照明設備	電灯2灯 (安全増防爆)			換気、排出の設備	電動ファン1基		
配管	SGP, 弁は鋳鋼						
消火設備	第4種粉末消火器1本 第5種粉末消火器2本			警報設備	加入電話		
工事請負者住所氏名	〇〇市 (〇〇町) 〇〇製作所 所長〇〇 〇〇 電話 〇〇〇-〇〇〇〇						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

[屋内タンク貯蔵所構造設備明細書記入要領]

- 1 「事業の概要」欄は、事業の内容について具体的に記入する。
- 2 「タンク専用室の構造」欄のうち、その他の欄は、タンク専用室の建築面積を記入する。
- 3 「建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造」欄は、次により記入する。
 - (1) 建築物全体が屋内タンク貯蔵所になる場合は、記入しない。
 - (2) 建築物の一部に設置する場合は、建物全体についての建物構造を記入する。
- 4 「タンクの構造、設備」欄は、次により記入する。
 - (1) 「形状」は、タンクの形状を「角型」、「縦置円筒型」等と記入する。
 - (2) 「常圧・加圧」は、該当する形態を記入する。
 - (3) 「寸法」は、当該タンクの寸法を「縦○○mm、横○○mm、高さ○○mm」等と記入する。
 - (4) 「容量」は、「実容量○○リットル、空間容積○○リットル(○○%)、容量○○リットル」等と記入する。
 - (5) 「材質、板厚」は、タンクの材質及び板厚を「底板○○mm、側板○○mm、屋根板○○mm」等と記入する。材質が部材により異なる場合は、底板SS400 8mm等とする。
 - (6) 「通気管」は、通気管の種別、数、内径又は作動圧を記入する。
 - (7) 「安全装置」は、安全装置の種別、数、作動圧について記入する。
(例) フレームレスター付大気弁1基 ○○KPa
 - (8) 「液量表示装置」は、覚知装置を「自動式液面計」等と記入する。
 - (9) 「引火防止装置」は、有・無に○を付ける。
- 5 「注油口の位置」欄は、注油口の位置について「遠方注入口」（別添図面の位置）、「タンク直上」等と記入する。
- 6 「注入口付近の接地電極」は、有・無に○を付ける。
- 7 「ポンプ設備の概要」欄は、ポンプ設備の種別（うず巻きポンプ、ギアポンプ等）、数、固定方法、設置位置について記入する。
- 8 「採光、照明設備」欄は、種別（窓、照明）、防爆構造の種別、数を記入する。
- 9 「換気、排出の設備」欄は、換気又は排出の別、素材、個数、引火防止網の有無等を記入する。
- 10 「配管」欄は、使用する配管の材質、口径、継手方法、外面防食方法を記入する。
- 11 「消火設備」欄は、例えば「第3種二酸化炭素消火設備（全域）、「第5種（粉末ABC消火器 3.5 kg）×3本」等と記入する。

- 12 「警報設備」欄は、例えば「加入電話」、「自動火災報知設備」等と記入する。
- 13 「工事請負者住所氏名」欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入する。